

みやぎの木づくり運動 みやぎ材利用のススメ

〈みやぎ材活用事例集〉VOL.9



泉岳自然ふれあい館

野外体験学習を中心とした市立小中学校の教育施設機能と、一般利用が可能な野外レクリエーション機能を併せ持つ、全国的にも稀少な大型の生涯学習施設です。県内で最大の木造公共施設であり、地元の根白石地区をはじめ、県内各地から集めたスギ等の県産材がふんだんに使用されています。

また、テーブルや椅子にも県産スギが活用されており、構造部材、内装、調度品に一体感を生む設計は、整然とした中にも木の温かさを感じることができる雰囲気をつくり出しています。

事業者 仙台市
所在地 仙台市泉区
福岡字岳山 9-8
構造 木造一部鉄骨造
延床面積 約9,000㎡
木材使用量 1,121㎡
完成年月 平成26年6月



みやぎの木づくり運動

～身近なところから県産材を使おう～

県内各地では、かつて盛んに植えられたスギなどの造林木が伐採の時期を迎えており、住宅資材や合板、製紙原料として利用されています。

一方、私たちの身近なところに「県産材を使う」ことは、森林の手入れが進み、「水源のかん養」や「自然災害の防止」、「CO2の吸収・地球温暖化の防止」といった森林の多面的機能が増進して、豊かな環境の形成につながっていきます。

このため宮城県では、市町村や関係団体、企業等と広く連携し、県産材の利用を呼びかける「みやぎの木づくり運動」を展開しています。

○県産スギを活用した木製椅子

「Passeggiata（パッセジャータ）チェア」
（株式会社イトーキ）は、平成26年10月に宮城県グリーン製品に認定されました。



○みやぎ児童・生徒木工工作コンクール

県内の小学校及び特別支援学校の児童・生徒が作成した、木材や林産物を利用した作品のコンクールです。宮城木材文化ホール運営委員会が主催しています。



みやぎの木づくり運動シンボルマーク

みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

●県産木材の活用事例

○県産スギLVLを活用した太陽光パネル用架台（西北プライウッド株式会社） 工場敷地内で実証試験が行われています。



○県産材を活用した受付・ディスカッションスペース（株式会社岡村製作所） 宮城大学大和キャンパス内に設置されています。

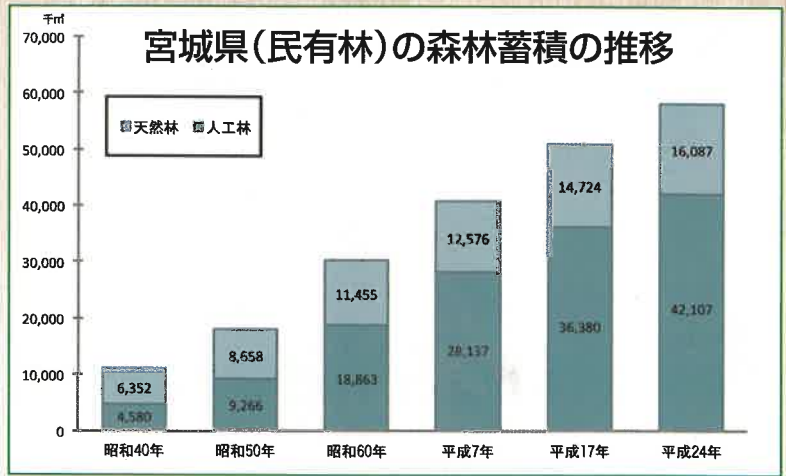




●宮城県の森林資源

宮城県内の森林蓄積は、昭和40年当時から約5倍に増加しています。また、県内の民有林は年間約103万㎡成長しています。一方、木材として利用される量は年間約50万㎡前後にとどまっており、多くの森林資源が収穫期を迎えているにもかかわらず、十分に利用されていない状況にあります。

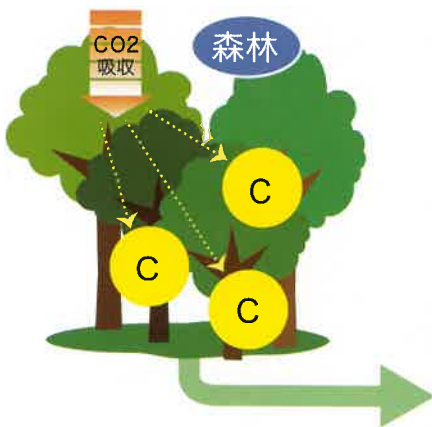
「植える→育てる→使う→植える」という森林整備と木材利用のサイクルを維持していくためにも、地元の木材を積極的に活用していくことが大



●木材と地球温暖化防止

樹木は、光合成によって大気中の二酸化炭素を取り込み、炭素を貯蔵しています。木材を住宅や家具などに使用すると、森林が吸収した二酸化炭素が長期間にわたり固定され、大気中の二酸化炭素の低減に繋がります。

また、木材は鉄やコンクリートなどの資材に比べて製造や加工に要するエネルギーが少ないため、二酸化炭素の排出量を削減することができます。

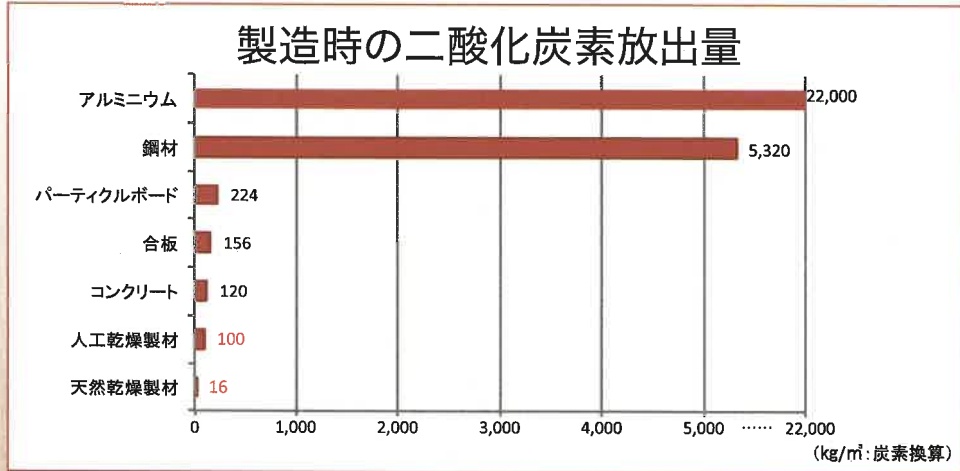


木材1㎡当たりの重量・・・0.4トン
 炭素の貯蓄量・・・重量の50%
 二酸化炭素量・・・炭素の量の約3.67倍

木材1㎡あたり
 約0.2トンのC
 (=0.73トンのCO2)
 が固定

住宅1棟あたり
 約4.8トンのC
 (=17.6トンのCO2)
 が固定

住宅1棟当たりの
 平均木材使用量・・・24㎡





●みやぎ材利用センター

県内の木材関係団体が設立した「みやぎ材利用センター」は、材面や寸法、含水率などの品質検査に合格した宮城県産の木材製品を「優良みやぎ材」として認証し、安定的に供給するワンストップサービス窓口です。また、消費者の方に安心して製品を利用いただけるよう、産地や生産者、含水率、強度などの情報を提供しています。

製品に関するお見積もり、ご注文等は、下記へ直接お問い合わせ下さい。

建築資材部

●主な取扱商品

構造材(土台・柱・梁・桁など)・造作材(天井・敷居・鴨居・枠材・床材・壁面材など)・下地材などの建築用資材



県産材をふんだんに使った住宅は、住む人に温かみと安らぎを感じさせてくれます。また、木は本来、強度・断熱性・耐火性・耐久性などバランスのとれた能力を持っています。



■問合せ先

〒983-0036
仙台市宮城野区苦竹2-7-30
(宮城木材文化ホール内)
TEL022-239-2011(FAX兼)

土木資材部

●主な取扱商品

杭丸太・加工丸太・チップ材などの土木用資材



道路の法面工事など修景を必要とする工事や、急勾配護岸工、擁壁工、流路工等に利用されています。



木製の防風垣は、塩害にも強いことから海岸地域での利用に適しています。

■問合せ先

〒981-3601
黒川郡大衡村大瓜字沓掛112
(宮城県森連大衡総合センター内)
TEL022-345-2205(代)
FAX022-345-2948

合板資材部

●主な取扱商品

県産合板
(構造用合板・型枠用合板・厚物合板・長尺合板など)



厚物合板を床に使うと、火打ち梁と根太の省略で施工が容易になり、地震に対する性能がアップします。



全国各地で、地元産合板が選挙候補者ポスター掲示用看板として使用されています。

■問合せ先

〒986-0005
石巻市大瓜字棚橋下待井65-1
(石巻地区森林組合内)
TEL0225-93-1711(代)
FAX0225-93-1707

●優良みやぎ材

「優良みやぎ材」は、規格や寸法、含水率などの品質を「みやぎ材利用センター」が検査し、合格した宮城県産の木材製品です。宮城県内の森林から合法的に伐採された原木を使用し、県内の認定工場で製材・加工されています。

検査に合格した製品には、原木生産地名や製材・加工社名などを証明した「優良みやぎ材認証書」が発行されます。





●公共施設等の木質化に対する支援

社会福祉施設や病院，学校，教育・文化施設などの公共建築物に木材を使用することにより，県民の方々が直接木に触れる機会が増え，木の良さやぬくもり，安心・安全な木のやすらぎを体感できます。また，地域の木造モデルとして高い波及効果も期待できます。

そのため，宮城県では，公共建築物における木材利用の促進に取り組む市町村や民間団体を支援しています。

みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業（市町村振興総合補助金）

公共施設等の木造化，内装等の木質化や木製品の配置に取り組む市町村を支援しています。

○事業の活用事例

表紙に掲載した泉岳自然ふれあい館（仙台市）には，宮城県産のスギを加工した椅子やテーブル，キャビネットなど合わせて684台が配置されました。



○お問い合わせ先

大河原地方振興事務所林業振興部（電話0224-53-3249）
仙台地方振興事務所林業振興部（電話022-275-9252）
北部地方振興事務所林業振興部（電話0229-91-0719）
北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部（電話0228-22-2381）

東部地方振興事務所林業振興部（電話0225-95-1436）
東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部（電話0220-22-6125）
気仙沼地方振興事務所農林振興部（電話0226-24-2535）
林業振興課 みやぎ材流通推進班（電話022-211-2912）

木の香る公共建築・おもてなし普及促進事業（みやぎ環境税活用事業）

民間団体が公共施設等の木造化，内装等の木質化，木製品の配置に当たり一定以上の県産材を使用する場合，経費の一部を助成しています。

○事業の活用事例

特定非営利活動法人やまぼうしのデイサービス施設（岩沼市）は，構造材の一部に宮城県産材（優良みやぎ材）を活用しており，木のぬくもりを活かした落ち着いた落ち着きのある和みの空間となっています。



○お問い合わせ先

林業振興課みやぎ材流通推進班（電話022-211-2912）



●公共施設等木質化の事例

葦の芽幼稚園子育て支援センター 「こどものもり」

特 徴 柱や床材は主に地元のスギを使用し、外壁は
仙台市で津波被害にあったクロマツを無償提
供してもらい使用しています。

事 業 者 学校法人あしのみ学園

所 在 地 気仙沼市古町3丁目5-8

構 造 木造平屋建

延 床 面 積 239.76㎡

木 材 使 用 量 約85㎡

完 成 年 月 平成25年1月



船迫こどもセンター

特 徴 児童館・子育て支援センター・子育てボランティア
団体などの活用拠点の3つの機能を併せ持つ児
童福祉施設です。町産木材を活用し、児童に優し
く温かみのある施設となっています。

事 業 者 柴田町

所 在 地 柴田郡柴田町大字船岡字若葉町10-16

構 造 木造平屋建

延 床 面 積 716.49㎡

木 材 使 用 量 約98㎡

完 成 年 月 平成26年6月



岩沼市東児童館

特 徴 被災した児童館の再建に当たり、県産木材をふんだんに使用しています。子ども連れの親子が安心して利用できる、めくもり溢れる施設です。

事 業 者 岩沼市

所 在 地 岩沼市早股字小林396-18

構 造 木造平屋建

延 床 面 積 446㎡

木 材 使 用 量 132.9㎡ (うち県産材使用量 108.8㎡)

完 成 年 月 平成26年3月



あいあいファーム わ・は・わ田尻

特 徴 障がい者福祉サービス事務所として建設されました。構造部分に優良品やぎ材が使用されているほか、宮城県産のスギを活用した椅子やテーブルが設置されています。

事 業 者 社会福祉法人みんなの輪

所 在 地 大崎市田尻八幡字天狗堂22-115

構 造 木造平屋建

延 床 面 積 315.92㎡

木 材 使 用 量 80.8㎡ (うち県産材使用量 74.7㎡)

完 成 年 月 平成26年10月



宮城県産材を利用して建設された災害公営住宅 (登米市 迫西大網地区)



● お問い合わせ先 ●

宮城県 農林水産部 林業振興課 みやぎ材流通推進班

〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

電話：022-211-2912

FAX：022-211-2919

ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk>

E-mail：rinsinf@pref.miyagi.jp



この印刷物は大豆油インキを使用し印刷されています。
この「みやぎ材利用のススメ」は、2,000部作成し1部あたりの単価は47円です。
印刷に伴い排出された温室効果ガスは、宮城県内の森林整備により創出されたJ-VERクレジットによりカーボンオフセットされています。

平成27年3月作成